

なぜ？なぜ？先生

～みんなの不思議～



「合掌」
つてなあに？

「合掌、なもあみだぶつ、なもあみだぶつ、なもあみだぶつ、礼拝」み仏さまにお参りする時は、始まりと最後には必ず手を合わせてお念仏をとなえて礼拝をします。合掌をするときは元気にパチンと音を立てて手を合わせたりしませんね。合掌は、両手を静かに優しく指をそろえて伸ばして合わせます。両肘を張らずに両手を胸の前で合わせましょう。さて、両手を合わせる合掌にはどういう意味があるのでしょうか。昔々のずっと昔からインドという国やスリランカ、ミャンマー、タイやベトナムという国では、み仏さまを拝むだけではなく、あなたのことを大切に思っていますという思いを伝える時に手を合わせています。インドという国では右手は清らかな手、左手は汚れている手だと考えられてきました。その両手を合わせて私はどちらの心も持っているんだなと気づかせてもらうのだそうです。大好きなお友達や、おうちの人や先生にいつも優しくしてくれてありがとうと感謝する心になった時や、わがまま言ったり喧嘩してごめんねという心になった時は合掌して「なもあみだぶつ、なもあみだぶつ」って言うてみたらどうでしょうか。すると「ごめんね」と言えて、「ありがとう」と言えるようになりますね。「合掌」はこころを込めてみ仏さまや大事な人に「あなたのことを大切に思っています」というこころを表す方法です。